

別表第3（初任科）：年2期科

教 科 目	単位時間数	教 育 訓 練 の 内 容
倫 理	5	消防職員の使命と公務員倫理について理解させる。
法 学 基 礎 ・ 消 防 法	20	法律の基礎知識及び消防法の目的と主要規定について理解させる。
消 防 組 織 制 度	9	地方自治制度、自治体消防制度及び消防組織について理解させる。
服 務 と 勤 務	15	地方公務員制度及び消防職員に必要な勤務の基礎について理解させる。
理 化 学	10	物理、化学、電気及び燃焼について消防上必要な基礎を理解させる。
予 防 広 報	20	防火管理、消防広報、自主防災等の予防の基礎について理解させる。
危 険 物	8	消防法上の危険物及びその規制等について理解させる。
消 防 用 設 備	12	消防用設備等の構造、基準及び設置等について理解させる。
査 察	27	査察の基本的要領及び違反処理等について理解させる。
建 築	10	建築の構造、法令、規制等について理解させる。
安 全 管 理	16	安全管理の概要及び対策等について理解させる。
特 殊 災 害 と 保 安	10	特殊災害の基礎知識と活動要領について理解させる。
火 災 防 ぎ よ	30	火災防ぎよの概要と活動要領について理解させる。
火 災 調 査	15	火災原因と損害の調査方法等の知識を養う。
防 災	23	自然災害等について基本的な知識と防災対策について理解させる。
救 急	44	救急について基礎的な知識を習得させる。
消 防 機 械 ・ ポ ン プ	10	消防ポンプ始め各種消防機械器具の構造、取扱い整備要領等について理解させ、併せて水力学、無線機器、道路交通法の知識を習得させる。
訓 練 礼 式	55	消防職員に必要な訓練、礼式及び点検について習熟させる。
消 防 活 動 訓 練	97	消防活動の基本的要領を習得させる。
救 助 訓 練	78	ロープ取扱技術、救助操法等の救助活動に必要な技術を習熟させる。
機 器 取 扱 訓 練	22	各種消防機械器具の取扱いについて習熟させる。
消 防 活 動 応 用 訓 練	70	各種災害を想定し、これに対処する実践的スキルを習熟させる。
体 育	55	体力練成等により消防活動に必要な体力を養うこと及び障害予防の知識を習得させる。
実 務 研 修	35 (42)	消防署において、当直勤務、毎日勤務の研修（5日間または6日間）を行う。
選 択 研 修	56 (49)	資格取得等（無線従事者講習、玉掛講習、フルハーネス型安全带使用作業特別教育）及び消防関係のみならず幅広い知識を得るための視察研修を行う。
行 事 、 そ の 他	53	入校式・卒業式（関連作業含む）実施のほか、県行事等に参加する。
計	805	(実：115日)

別表第4（警防科）

教 科 目	単位時間数	教 育 訓 練 の 内 容
防 災	4	防災関係法令を含め、防災の基本的事項を理解させる。
警 防 対 策	19	現場指揮要領、地震対策、水災対策及び火災防ぎよ並びに警防の課題、問題点等について理解させる。
消 防 戦 術 と 安 全 管 理	12	安全管理について理解させる。
図 上 訓 練	8	各種災害を想定したシミュレーション訓練を実施する。
実 技 訓 練	30	各種災害に対する現場指揮要領及び実戦応用力のスキルを習得させる。
事 例 研 究	2	警防全般の動向や課題を題材として、討議研修を行う。
効 果 測 定	3	学科試験を行う。
訓 練 礼 式	1	通常点検の実施要領や答礼要領を習得させる。
行 事 、 そ の 他	5	入校式・修了式等を行う。
計	84	(実：12日)

別表第5（危険物科）：隔年周期科

教科目	単位時間数	教育訓練の内容
講話	1	消防職員としての職責と心構えについて理解させる。
危険物行政の現状と課題	2	危険物行政の現状と課題、消防関係法令の改正内容について理解させる。
危険物化学	5	各危険物の概要と指定可燃物、消防活動阻害物質の貯蔵・取扱いについて理解させる。
危険物規制	21	危険物施設の規制、位置・構造・設備の基準、危険物の貯蔵・取扱い・運搬・移送の基準、許認可事務及び違反処理について理解させる。
事例研究	3	危険物規制実務事例、違反処理事例、災害事例を題材として、研究討議を行う。
効果測定	1	学科試験を行う。
行事、その他	2	入校式・修了式等を行う。
計	35	(実：5日)

別表第6（火災調査科）

教科目	単位時間数	教育訓練の内容
講話	1	職責と心構えを理解させる。
原因調査関係法規	6	製造物責任法や放火捜査、訴訟対応に必要な法令について理解させる。
原因調査	25	燃焼理論、現場調査の進め方、出火箇所の判定方法について理解させる。
損害調査	6	焼損程度、損害額の算出基準について理解させる。
鑑定	2	鑑定実施要領、測定機器の取扱い等について理解させる。
調査実習	7	関連施設等において調査実習を行う
調査書類	14	調査書類の作成要領を習得させる。
事例研究	6	各種事例を題材として、討議研修を行う。
効果測定	2	学科試験を行う。
行事、その他	1	入校式・修了式等を行う。
計	70	(実：10日)

別表第7（救急科）：年3期科

教科目	単位時間数	教育訓練の内容
救急医学の基礎	50	医学概論、解剖と生理、社会保障と社会福祉及び救急実務と関係法規について理解させる。
応急処置の総論	73	観察、検査、応急措置総論、応急措置各論及び救急医療・災害医療を理解させる。
病態別応急措置	67	心肺停止、ショック・循環不全、意識障害、出血、一般外傷、頭部・頸椎損傷、熱傷・電撃傷、中毒、溺水及び異物の病態と対応について理解させる。
特殊病態別応急措置	25	小児・新生児、高齢者、産婦人科・周産期及びその他の創傷等の病態と対応等について理解させる。
実務研修	7	各所属において実地研修を行う。
病院研修	7	医療機関において実地研修を行う。
その他実習及び行事	28	視察・安全管理・訓練礼式・効果測定・入校式・修了式等
計	257	(実：37日) ※前期<入寮>、中期<通学>、後期<入寮>

別表第8（救助科）

教科目	単位時間数	教育訓練の内容
訓練礼式	2	通常点検の実施要領や答礼要領を習得させる。
安全管理	16	救助活動時の安全管理及び惨事ストレス対策について理解させる。
災害救助対策	21	救助関係法令に精通させ、救助事象別の対策を習得させる。
救急	4	救助活動の現況に即した対処要領と技能を習得させる。
救助器具取扱訓練	15	各種救助資器材の取扱技能を習得させる。
救助訓練	39	座屈建物救助訓練、緊急援助隊・航空隊との連携訓練を実施する。
総合訓練	35	NBC災害、震災時対応訓練を含む総合的な訓練を実施する。
効果測定	3	学科試験を行う。
行事、その他	5	入校式・修了式等を行う。
計	140	(実：20日)

別表第9（初級幹部科）：3年周期科

教 科 目	単位時間数	教 育 訓 練 の 内 容
講 話	1	公務員倫理と消防職員の倫理、初級幹部としての職責と心構えを理解させる。
消 防 時 事	8	消防に関する話題、事象について検討する。
消 防 財 政	3	消防財政等について理解させる。
人 事 業 務 管 理	12	組織と監督者、監督技術等について理解させる。
安 全 管 理	10	消防と安全管理の概念及び対策等について理解させる。
現 場 指 揮	18	災害指揮や操法等の指揮及び指導要領等について習熟させる。
事 例 研 究	15	各種事例の共同研究を行う。
行 事 ・ そ の 他	3	入校式・修了式等を行う。
計	70	(実：10日)

別表第10（はしご自動車等運用科）：年2期科

教 科 目	単位時間数	教 育 訓 練 の 内 容
安 全 管 理 及 び 事 例 研 究	3	安全管理の基本理念及び事故事例について理解させる。
取 扱 基 本 理 念 及 び 特 殊 装 置 の 構 造	3	基礎力学、取扱いの原則及び特殊装置の構造について習熟させる。
点 検 整 備 及 び 故 障 と 対 策	4	はしご自動車等の点検、整備及び故障と対策について理解させる。
取 扱 訓 練	8	はしご自動車等の取扱いについて習熟させる。
行 事 、 そ の 他	3	入校式・修了式等を行う。
計	21	(実：3日)

別表第11（地震防災科）

教 科 目	単位時間数	教 育 訓 練 の 内 容
国・県の防災行政の現況・課題	1	国・県の地震防災行政の現況・課題を理解させる。
南海トラフ地震論	2	地震のメカニズム、予測、被害、対策、直下型地震を理解させる。
建 築 防 災 論	3	建築物の揺れの仕組み、耐震診断、耐震改修の方法を理解させる。
災 害 社 会 学	2	災害と集団行動、社会システムを理解させる。
都 市 災 害 論	2	現代都市の特性と都市災害の諸相を理解させる。
自主防災組織の現況と課題	2	自主防災組織の活性化の事例研究。
行 事 、 そ の 他	2	入校式・終了式等を行う。
計	14	(実：2日) ※校外開催〈通学〉

別表第12（指揮隊科）

教 科 目	単位時間数	教 育 訓 練 の 内 容
訓 練 礼 式	1	通常点検の実施要領や答礼要領を修得させる。
指 揮 活 動 要 領	19	現場指揮の理論、基本的事項、指揮活動要領等について理解させる。
安 全 管 理	4	消防と安全管理の概念及び対策等について理解させる。
図 上 訓 練	8	現場指揮活動全般の総合的な訓練を実施する。
行 事 、 そ の 他	3	入校式・修了式等を行う。
計	35	(実：5日)

別表第13（外傷・災害対応講習）

教 科 目	期 間	教 育 訓 練 の 内 容
外傷・災害対応講習 A	1日	外傷現場で隊長として行うべき知識、技術を習得させる。 ※年1期開講〈通学〉
外傷・災害対応講習 B	1日	大規模な災害現場で隊長として実施するべき医療、指揮、関係機関との連携についての知識、技術を取得させる。 ※年1期開講〈通学〉

別表第14 (消防団員 警防・機関科)

教 科 目	単位時間数	教 育 訓 練 の 内 容
講 話	1	消防団員としての心構え
火 災 防 ぎ よ	2	消火活動要領の基礎を理解させる。
消 防 活 動 訓 練	2	防火防災等の消防団活動の基礎を理解させる。
ポ ン プ 運 用	2	放水要領と車両の特性を理解する。
安 全 管 理	2	活動時の安全に対する認識を持たせる。
緊 急 走 行 要 領	1	出動時の車両走行の実務を習得する。
機 関 整 備	1	消防ポンプの基礎を学ぶ。
行 事 、 そ の 他	2	入校式・修了式等を行う。
計	13	(実：2日)

別表第15 (消防団員 初級幹部科)

教 科 目	単位時間数	教 育 訓 練 の 内 容
講 話	1	初級幹部としての職責と心構えについて理解させる。
訓 練 礼 式	1	通常点検の実施要領や答礼要領を習得させる。
現 場 指 揮	3	建物火災訓練を実施する。
防 災	2	地域防災計画に占める消防団の役割について理解させる。
防 災 指 導 要 領	2	訓練指導要領を習得させる。
安 全 管 理	2	消防団活動に係る事故予防対策について理解させる。
行 事 、 そ の 他	3	入校式・修了式等を行う。
計	14	(実：2日)

別表第16-1 (消防団員 指揮幹部科 (現場指揮課程))

教 科 目	単位時間数	教 育 訓 練 の 内 容
講 話 現 場 指 揮 安 全 管 理	2	現場指揮者としての職責と心構え、現場指揮の重要性・留意点、消防団活動における危険要因及び予防対策並びに事故対応措置の概要について理解させる。
火災防ぎよ・水災活動 訓 練	4	大規模地震発生時における指揮要領及び延焼防止措置について理解させる。 風水害時の救助・指揮要領を理解させる。
救 助 ・ 救 命 訓 練	3	倒壊家屋等からの救助救命・指揮要領を理解させる。
避 難 誘 導 、 災 害 情 報 収 集 ・ 伝 達 訓 練 、 地 域 防 災 指 導	3	津波災害時等の避難誘導・広報を理解させる。 他機関との連携と捜索活動 (表示の活用)、情報収集・伝達等の情報共有について理解させる。 初期消火、応急手当等簡易な救助の指導ができる。
行 事 、 そ の 他	2	入校式・修了式等を行う。
計	14	(実：2日)

別表第16-2 (消防団員 指揮幹部科 (分団指揮課程))

教 科 目	単位時間数	教 育 訓 練 の 内 容
講 話 組 織 制 度 安 全 管 理	2	分団指揮者としての職責と心構え、消防団組織の現況、消防団の充実強化及び活性化対策、公務災害補償制度の概要について理解させる。
防 災	3	災害対策基本法と消防団の役割、地域防災計画に占める消防団の役割、長期化活動対策、惨事ストレス対策について理解させる。
災 害 対 応 図 上 訓 練	2	分団本部活動・管理運営要領、部隊等の安全管理、災害情報収集・伝達等の情報共有、他機関との連携について理解させる。
事 例 研 究	2	消防団の充実強化及び活性化事例、安全管理事例を題材に検討する。
行 事 、 そ の 他	2	入校式・修了式等を行う。
計	11	(実：2日)

別表第17 (女性消防団員教育科 (1日入校))

教 科 目	期 間	教 育 訓 練 の 内 容
応 急 手 当 訓 練 等	1日	女性消防団員として必要な応急手当訓練等の知識と技能を習得させる。

別表第18〈消防団員 特別教育科（1日入校）〉

教 科 目	期 間	教 育 訓 練 の 内 容
訓 練 礼 式 等	1日	消防団員として必要な訓練の知識と技能を習得させる。

別表第19（操法個別指導会）：1日（2日間開催）

教 科 目	期 間	教 育 訓 練 の 内 容
消 防 操 法	2日	愛知県消防操法大会出場消防団員に消防操法実施要領を理解させ、操法技能を習得させる。

別表第20（移動消防学校）

教 科 目	期 間	教 育 訓 練 の 内 容
訓 練 礼 式 等	1日	消防団員として必要な訓練礼式等の知識と技能を習得させる。

別表第21-1（自衛防災要員等教育科）【特定事業所】

教 科 目	単 位 時 間 数	教 育 訓 練 の 内 容
訓 練 礼 式	2	通常点検の実施要領や答礼要領を習得させる。
消 防 法 令	2	消防法令について理解させる。
防 災 法 令	2	防災法令について理解させる。
自 主 点 検	3	法定点検と対比において、自主点検の意義とその概要を理解させる。
消 防 機 械 器 具 訓 練	4	消防用機械器具等の取扱いについて習熟させる。
危 険 物 の 性 状 と 安 全 対 策	3	危険物火災防ぎょ対策上、各種物品の性状と安全性等について理解させる。
化 学 消 火 訓 練	4	各種消火薬剤等を使用し、消火方法を理解させる。
安 全 管 理	1	安全管理の概念と対策等について理解させる。
救 急 法	2	災害現場における応急処置等の基本的な知識と技術を習熟させる。
火 災 防 ぎ ょ	2	火災防ぎょ活動の基礎を理解させる。
行 事 、 そ の 他	2	入校式等を行う。
計	27	（実：4日）

別表第21-2（自衛防災要員等教育科）【一般事業所】

教 科 目	単 位 時 間 数	教 育 訓 練 の 内 容
訓 練 礼 式	2	通常点検の実施要領や答礼要領を習得させる。
自 主 点 検	3	法定点検と対比において、自主点検の意義とその概要を理解させる。
消 防 機 械 器 具 訓 練	4	消防用機械器具等の取扱いについて習熟させる。
救 急 法	2	災害現場における応急処置等の基本的な知識と技術を習熟させる。
行 事 、 そ の 他	2	入校式等を行う。
計	13	（実：2日）

別表第22〈女性消防クラブ指導者科（一日入校）〉

教 科 目	期 間	教 育 訓 練 の 内 容
訓 練 礼 式 消 火 器 取 扱 等 地 震 体 験	1日	指導者として必要な消防防災に関する知識及び技能を習得させる。

別表第23（女性消防クラブ特別教育科）

教 科 目	期 間	教 育 訓 練 の 内 容
訓 練 礼 式 消 火 器 取 扱 等 地 震 体 験	1日	消防防災に関する知識及び技能を習得させる。

別表第24〈少年消防クラブ指導科（BFC1日入校）〉：（3日間開催）

教 科 目	期 間	教 育 訓 練 の 内 容
地 震 体 験	3日	地震に関する知識を習得させる。（体験）
煙 道 体 験		煙道避難方法に関する知識を習得させる。（体験）
火 災 の 避 難 訓 練		火災発生時の避難方法を習得させる。（体験）
着 衣 着 火 対 応 訓 練		着衣着火時の対応を習得させる。（体験）
放 水 体 験		放水に関する知識を習得させる。（体験）
規 律 訓 練		消防規律に関する知識をさせる。（体験）
消 防 車 輛 観 察		消防車に関する知識を習得させる。（体験）
行 事 、 そ の 他		入校式・修了式等を行う。